

# ほ場整備を契機とした地域振興について

～集落営農組織の法人化と、  
地域の活性化について～

- ・ 元芹沼地区圃場整備事業推進委員会
- ・ 副会長・換地委員長・工事委員長
- ・ 農事組合法人：日光アグリサービス
- ・ 代表理事組合長 沼尾 一郎

# 目 次

- 1 地域の概要
- 2 ほ場整備事業の概要
- 3 集落営農への取組
- 4 園芸の振興
- 5 環境配慮・地域活動
- 6 日光アグリサービスの基本理念
- 7 将来構想

# 1 地域の概要

## 日光市の位置



○日光市のほ場整備率  
平成26年5月現在  
35.4% A=1,093ha

参考

栃木県のほ場整備率  
71.2%

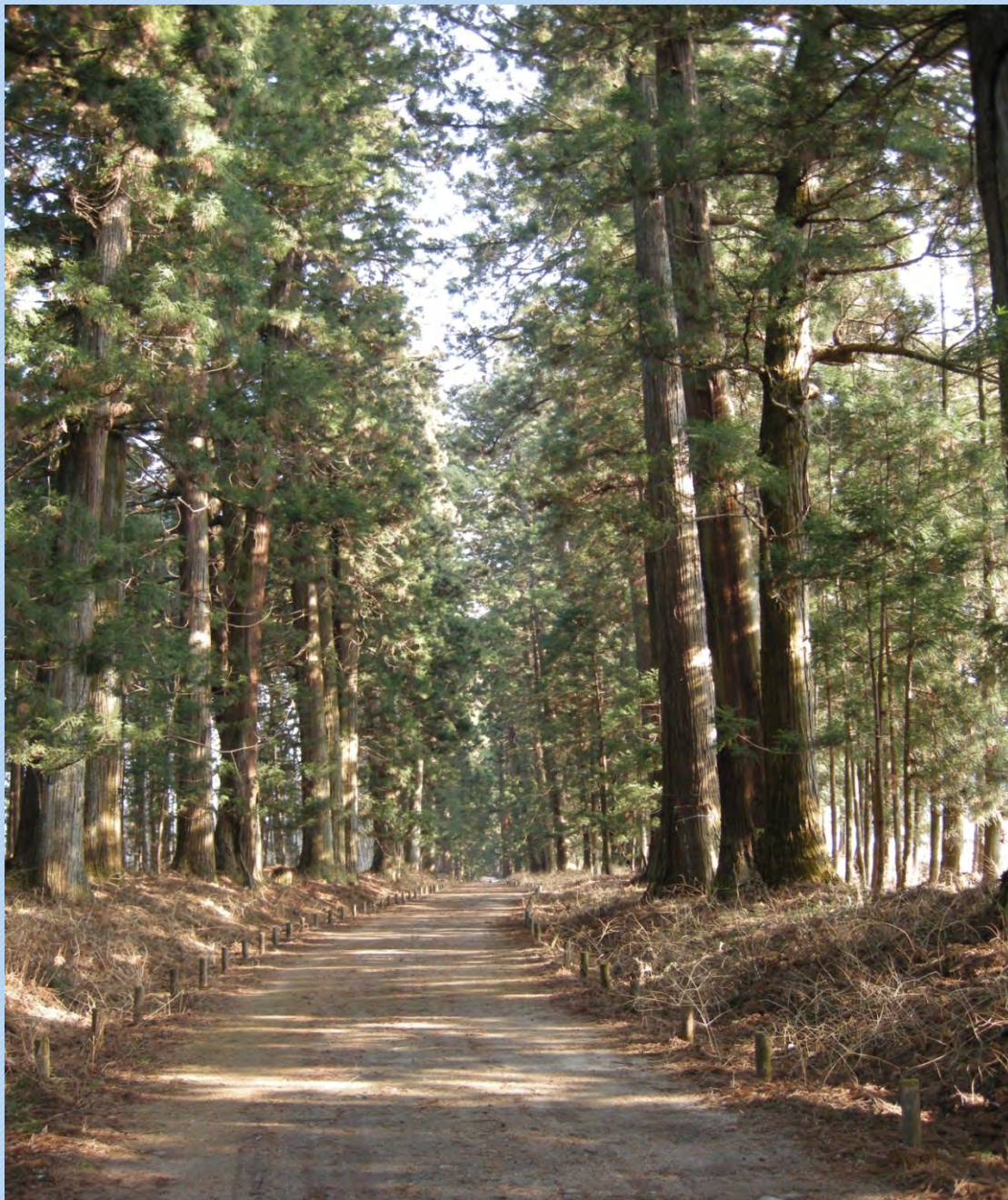


# 【日光市の概要】

- ①平成18年3月 旧今市市・日光市・藤原町・  
足尾町・栗山村が合併
- ②総面積 1,449.87km<sup>2</sup>  
(県土の約4分の1)
- ③平均気温 12.6℃
- ④年間日照時間 1,878時間
- ⑤年間降水量 1,619mm
- ⑥年間観光客数 11,251,204人(平成21年)  
(宿泊者数 約350万人)  
(外国人宿泊者数 約6万人)



# 日光杉並木





# 淵ガ満憾





## 2 ほ場整備事業の概要

### 【芹沼地区 位置図】

芹沼地区

東武今市駅

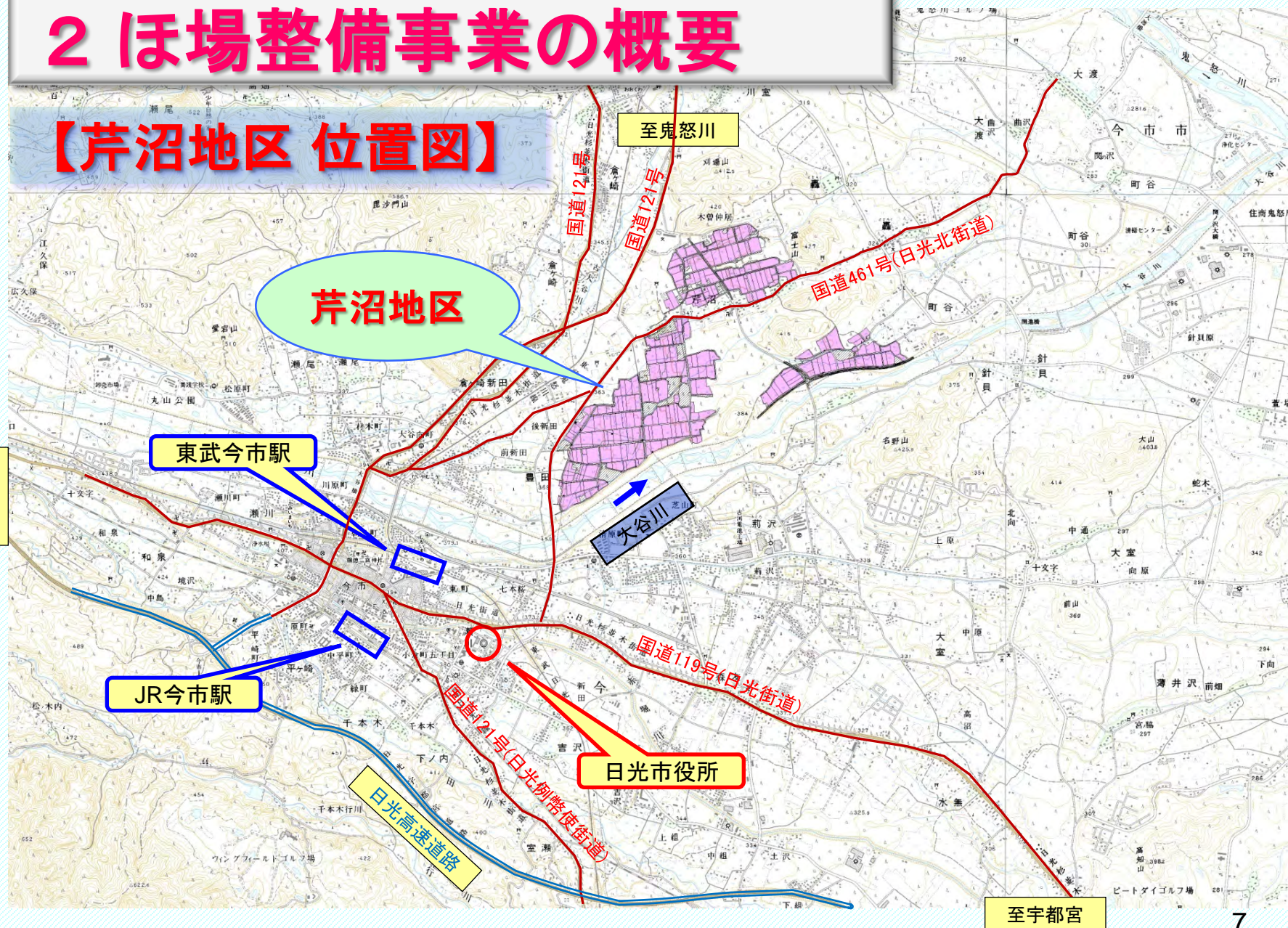
JR今市駅

日光市役所

至日光

至鬼怒川

至宇都宮





# 【ほ場整備事業実施に向けた調査計画】

## ・地元意向のとりまとめ

★地元推進組織の設立

## ・基礎調査

(平成7年度)

## ・計画設計

地形図作成 (H8)

換地等調整事業

(アンケート調査)

## ・計画樹立、法手続

(平成9年度)



# 【芹沼地区 ほ場整備事業の実施】

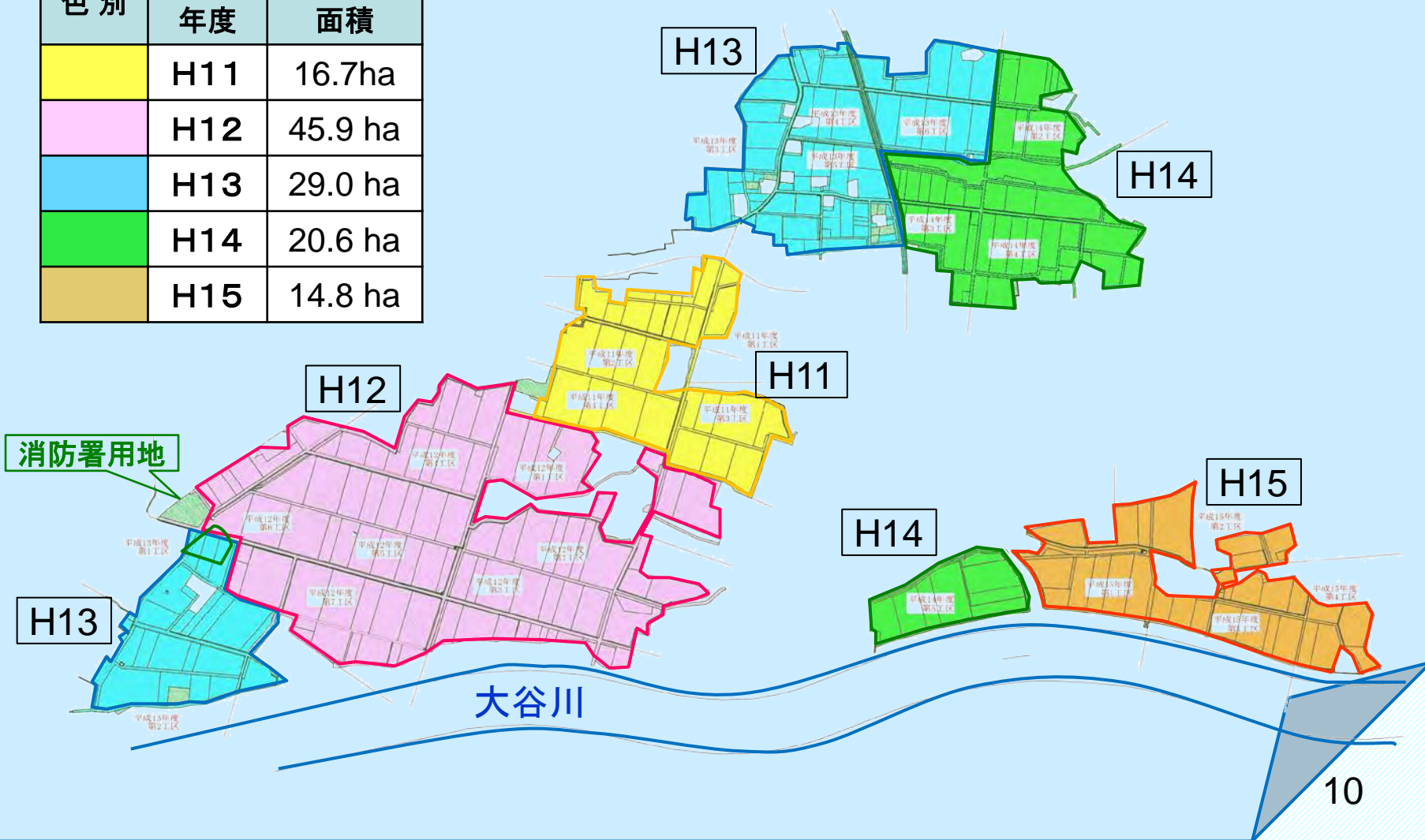
- ・事業名称 県営ほ場整備事業(担い手育成型)
- ・事業年度 平成10年度～平成17年度
- ・総事業費 14億2千万円 (111万円／10a)
- ・受益面積 128.0 ha(地区全体面積 157.4ha)

整備面積	水田 116.7ha、畑 11.3ha
道路延長	15.4 km
用水路延長	17,4 km
排水路延長	12.0 km
地形勾配	約1／100



## 【年度別施工位置図】

色 別	施工 年度	施工 面積
	H11	16.7ha
	H12	45.9 ha
	H13	29.0 ha
	H14	20.6 ha
	H15	14.8 ha





## 【芹沼地区 換地の概要】

○関係農家	103戸		
○団地	従前地	384団地	
	換地	260団地	
○1団地当たりの面積	従前地	3380m <sup>2</sup>	
	換地	4900m <sup>2</sup>	
○交付率	98.2%	(＝減歩率1.8%)	
○換地処分	平成18年8月		



# 【整備前】

従前の田は狭小で不整形地

従前の水路は狭小で用排水路兼用

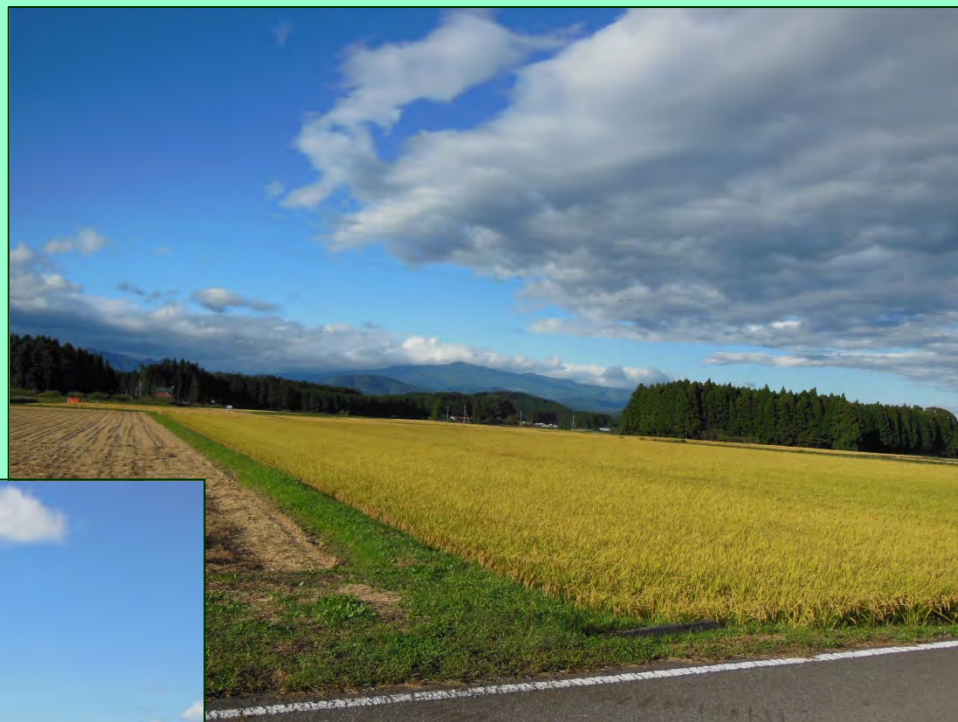
## 【整備後①】



日光アグリサービスの協働作業



## 【整備後②】



### 3 集落営農への取組

#### 【地域農業の概要】（平成23年）

##### ① 概要

・農家戸数:128戸

専業農家 13戸、第1種兼業農家 8戸、  
第2種兼業農家 107戸

##### ② 経営規模

・水田利用状況

水田面積 206ha

主な作物 水稻 139 ha、野菜 15 ha、  
大豆 15.5 ha、そば 9 ha

・1戸当たり平均水田面積:1.8 ha



# 【農地集積のビジョンづくり】

芹沼・豊田・町谷  
集落営農推進協議会

支援

JA上都賀  
(集落型経営体  
特別支援事業)

芹沼地区の明日の農業を考える会

- ・若い後継者
- ・女性
- ・高齢者    も参加

「水田農業ビジョン」の策定

- ・ほ場整備のあり方
- ・集落営農への取組
- ・その他地域振興策の方向性

# 【担い手への集積計画(ほ場整備)】

## ①担い手の設定

当初 担い手：4名

変更 生産組織：芹沼地区グリーンファームシステム  
(平成13年3月設立)

構成 オペレーター：認定農業者7名  
事務局：2名

## ②集積内容

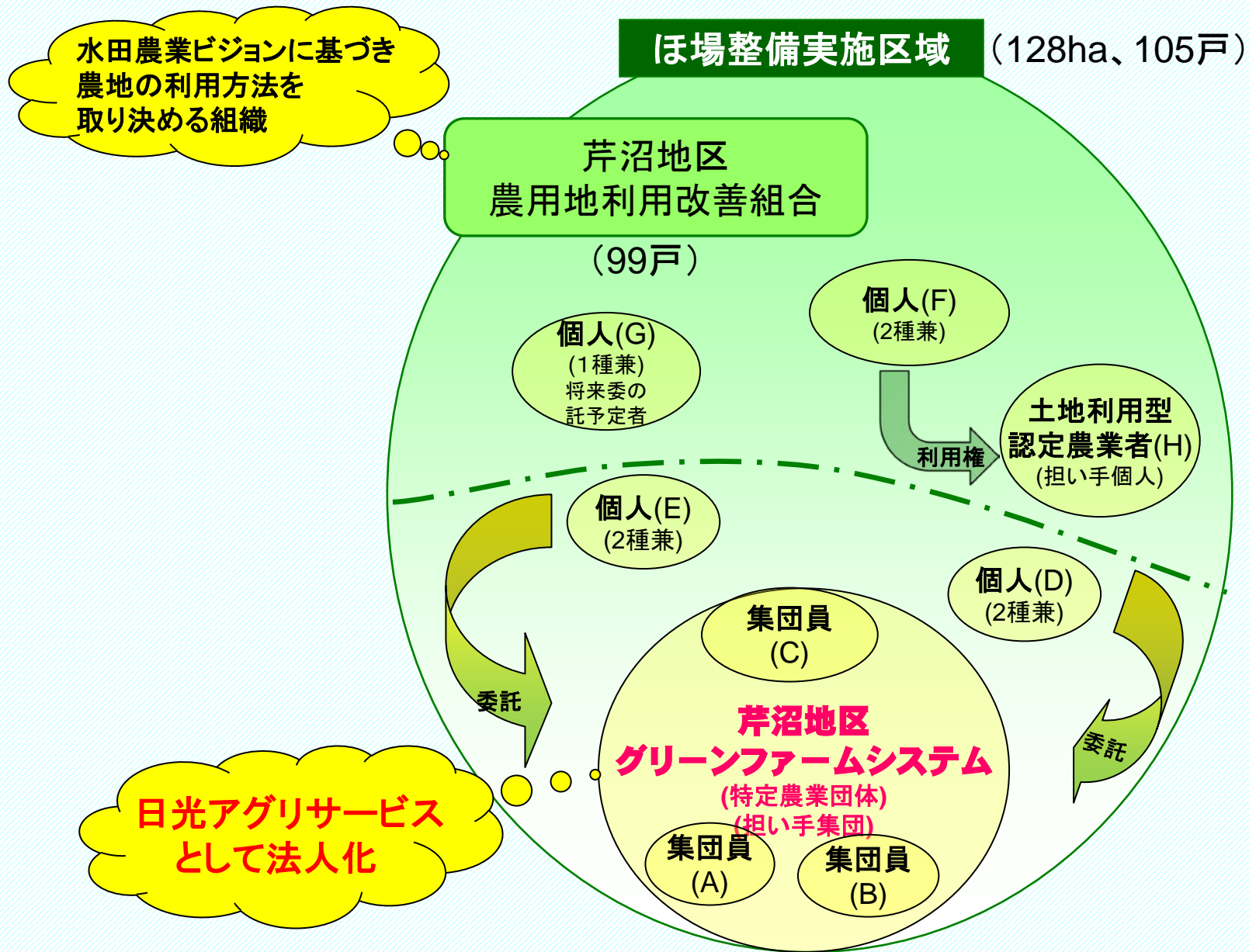
・ 担い手による経営面積(実施前)	35.86 ha	(A)
・ 同 地区内経営面積(実施前)	20.39 ha	(B)
・ 同 地区内経営面積(実施後)	36.87 ha	(C)
・ 事業対象地区面積	128.0 ha	(D)

$$\text{○増加率} = \frac{C - B}{A} = \frac{36.87 - 20.39}{35.86} = 45.96\%$$

$$\text{○シェア率} = \frac{C}{D} = \frac{36.87}{128.0} = 28.80\%$$



# 【芹沼地区農地利用集積システムのしくみ】



# 《芹沼地区グリーンファームシステムの法人化》

## 【農事組合法人 日光アグリサービスの概要】

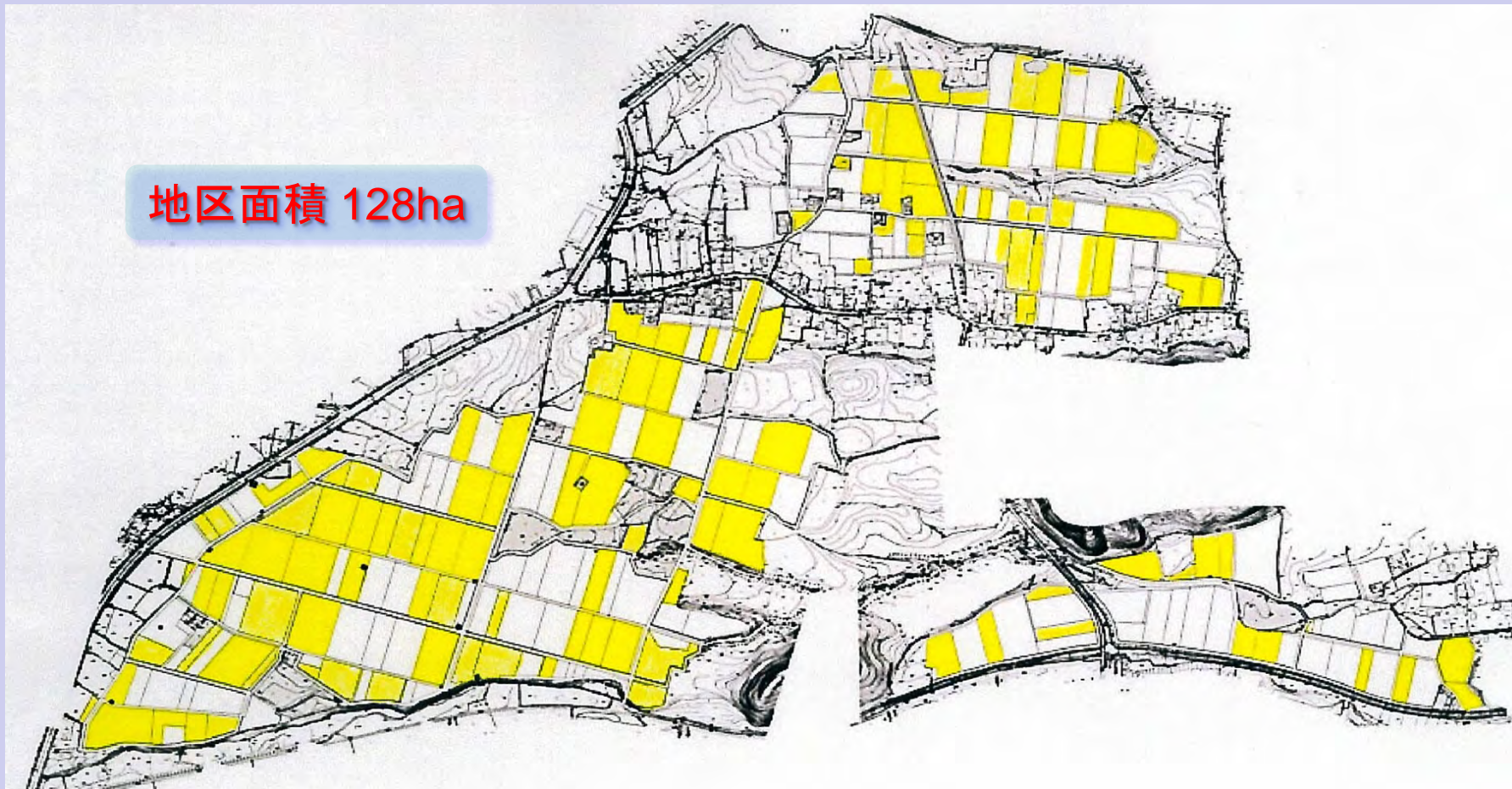
- ◆設 立 平成24年1月設立総会(2月登記)
- ◆主な事業エリア 日光市芹沼、豊田、町谷地区
- ◆構成員 17名 (理事:4名、監事:3名)
- ◆出資金 1,694,000円(均等割及び面積割)
- ◆主な施設・機械の保有状況
  - ・ライスセンター 400㎡ ・乾燥機 8台 ・育苗施設 6棟
  - ・コンバイン 4台(6条刈:2台、5条刈:2台) ・田植機 3台(8条植え)
- ◆事業内容 農業の経営、農作業の受託 等
- ◆事業規模及び計画

区分	水稻	大豆	そば	野菜	計(ha)
(H23)設立時	42.0	16.5	9.0	-	67.5
(H29)目 標	50.0	17.0	10.0	1.0	78.0
(H25)実 績	50.0	18.4	5.6	-	74.0



# 【農地の集積状況（H25実績）】

地区面積 128ha



年度	主な動き（担い手）	集積面積	集積率
H 9	ほ場整備事業実施前（個人4名）	20.4 ha	15.9 %
H18	事業実施後（特定農業団体「芹沼地区グリーンファームシステム」）	36.9 ha	28.8 %
H23	農事組合法人「日光アグリサービス」設立（同左）	67.5 ha	52.7 %
H25	（現状）	74.0 ha	57.8 %



## 【営農 トラクター】





## 【営農 散布機】



## 【営農 コンバイン】





## 4 園芸の振興

ほ場整備により

- ・農地の集積
- ・区画形状の改善

アグリサービスに  
水田経営を委託

土地利用型農業の合理化

園芸経営への新規取組

- ・ 水稲からの労力転換
- ・ 新規就農
- ・ ハウスの団地化



# 【沼尾一郎 観光農園（日光ストロベリーパーク）】





# 【川村一徳氏 ジョルディカワムラ】

(花の品種開発と生産)





# 【長島完治氏 ニラハウス内】





## 5 環境配慮・地域活動

### 【農地・水・環境保全向上対策 生きものの調査】



## 6 日光アグリサービスの基本理念

協同の力で地域農業を守り、  
豊かな生活の確立を目指す

◆ 人づくり、  
土づくり、  
物づくり、  
客づくり

◆ 従事分量配当  
・組合員の切磋琢磨  
・技術力の向上



## ■ 取組の成果

水稻の収量 : 601 kg/10a(H23)  
(コシヒカリ) (県平均 540 kg/10a)

作業時間 : 15 hr/10a  
(コシヒカリ) (整備前 39 hr/10a)

いちごの収量 : 7 t/10a  
(とちおとめ) (県平均 4.37 t/10a)

# 7 将来構想

## 地域的営農管理システム

### ①農地の登録制

### ②土地利用計画策定

- ・戸別の農地利用調書作成
- ・集団転作
- ・機械作業集団化

### ③農地流動化の策定

### ④農作業受委託の促進と基幹3作業の策定

- ・担い手の役割分担

### ⑤地域における作目別の栽培指針の策定

### ⑥栽培協定の策定

- ・売れる米作りをメインとした作物の販売戦略、観光農業、減農薬

### ⑦自然環境・景観・風景を大切にしたい地域づくり

その他 集落内の若奥さんの活躍の場づくり



農村環境は私たちの宝です。

終